

NO. **132**
2019冬号

KGA GOLFER'S NEWS

一般社団法人
関東ゴルフ連盟

2019年KGA主催決勝競技詳報

関東ミッドアマチュアゴルフ選手権

関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権

関東シニアゴルフ選手権

関東女子シニアゴルフ選手権

関東ミッドシニアゴルフ選手権

関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権

関東ジュニアゴルフ選手権 男子

関東ジュニアゴルフ選手権 女子

関東小学生ゴルフ大会





2013年
「TEAM KGA ジュニア」発足

2013年3月20日、「TEAM KGA ジュニア」認定選手の認定式が行われ、正式にチームがスタートしました。



第1回IMG派遣選手(女子)は手田優利選手と荒瀬莉緒選手で、2人は揃って2019年LPGAプロテストに合格。



最初に教わったのは靴紐の正しい結び方でした。

2013年
関東女子ゴルフで
「TEAM KGA ジュニア」が大躍進！



2013年
関東女子ゴルフで
「TEAM KGA ジュニア」
の永井花奈選手
(現・プロ)が優勝！

TEAM KGA JUNIOR

東京オリンピックまであと8か月 「TEAM KGA ジュニア」 2013年発足からの軌跡

協会（LPGA）などで指導実績のある「J-Labo」の講師が、子供たちとの接し方やコミュニケーション力の培い方などをアドバイス。充実した一日となった。この日の研修会には2020年度の「日本ゴルフ協会（JGA）女子ナショナルチーム」のメンバーに選ばれて「TEAM KGA ジュニア」を離れる佐久間朱莉（埼玉平成高2年）、六車日那乃（麗澤高2年）

JGAナショナルチームへ
そこから五輪の表彰台へ
2019年の「TEAM KGA ジュニア」合同ラウンド研修会が12月1日、栃木県の西那須野カントリー倶楽部で行われ、小学校5年生から高校2年生までの男子25名、女子27名、卒業生3名が参加した。選手たちがラウンドしている間には付き添いの親を対象にした研修も行われ、日本女子プロゴルフ

CONTENTS

- 1 東京五輪まであと8か月
「TEAM KGA ジュニア」2013年発足からの軌跡
- 2019年KGA主催競技詳細
- 6 関東ミッドシニアゴルフ選手権
- 8 関東女子シニアゴルフ選手権
- 10 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権
- 12 関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権



NO.132
KGA GOLFER'S NEWS

2019年12月25日発行
一般社団法人 関東ゴルフ連盟
Kanto Golf Association

GREEN PAGES

- 15 KGAの歴史 1964年東京五輪当時のKGA
- 16 連載・1都10県地域通信(群馬県、栃木県、茨城県)
- 19 分科委員会ルポ(月例部会)
- 20 今、そして将来を見据えたゴルフコース改修
- 22 台風被害の復旧状況報告
- 23 関東シニアゴルフ選手権
- 26 関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権
- 28 関東ジュニアゴルフ選手権 男子の部
- 30 関東ジュニアゴルフ選手権 女子の部
- 32 関東小学生ゴルフ大会
- 34 トピックス
- 36 コラム
- 37 From KGA



編集／関東ゴルフ連盟広報委員会
統括／吉田裕明 委員長
取材／塚越克一 副委員長
大竹 茂 委員
久保田昌幸 委員
鈴木一也 委員
高岡和弘 委員
富澤 仁 委員
本條 強 委員
鈴木真理 参考
福島 靖 参考

表紙／撮影・大竹 茂 委員



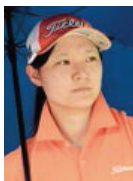
ラウンド前に入念な準備

しても、KGAで学んだことが基本であることを改めて感じています。
 笠川 8地区対抗戦は女子の部でチームが優勝し、個人でも六車さんが優勝。チームを代表して参加し、結果を残してくれたのはうれしかったです。
 佐藤 8地区対抗戦は「TEAM KGAジュニア」が結成された後に創設されました。先輩の吉田優利さんもその中からナショナルチームに行き、今回も2人が選ばれました。
 ナショナルチームとの距離が近くなったことを感じますし、縦

「ハキハキ、キビキビ、明るい笑顔」先輩から後輩への橋渡し
 佐久間 そのような経験を積むことで、目標だったナショナルチームに入ることができました。昨年は周囲の人から「朱莉ならナシ

のつながりもできてきました。
 佐久間 私は小学校5年から「TEAM KGAジュニア」でお世話になりましたが、8地区対抗戦はいろいろな地区の人たちと学ぶことができた。
 また、米国の「IMGゴルフアカデミー」に派遣されて研修ができたことは、大きな思い出です。自分の英語力のなさが実感できたし、海外での食事に関しても貴重な経験となりました。
 笠川 IMGアカデミーへの派遣は、当初から強化部会をつくり、どの年代で派遣すればいいのかを話し合っています。日本にいては学べない環境を経験できるのは、素晴らしいことだと思っています。

「TEAM KGA ジュニア」からJGAナショナルチームへ



佐藤 麗華
 1996年5月31日生まれ。
 2013年在籍。
 2012～14関東ジュニア優勝。



伊藤 菜奈
 1996年6月24日生まれ。
 2013年在籍。



永井 花奈
 1997年6月16日生まれ。
 2013～2014関東女子優勝。



畑岡 奈紗
 1999年1月13日生まれ。
 2013～14年在籍。
 2015関東ジュニア優勝、2016関東女子優勝、2016～2017日本女子オープン優勝。



坂本 雄介
 1998年5月14日生まれ。
 2014～15年在籍。



高橋 彩華
 1998年7月24日生まれ。
 2015～16年在籍。
 2016日本女子アマ優勝。



塚本 岳
 1998年7月28日生まれ。
 2014～16年在籍。



中島 啓太
 2000年6月24日生まれ。
 2015年在籍。
 2017関東アマ優勝、2018アジア競技大会優勝。



吉田 優利
 2000年4月17日生まれ。
 2013～16年在籍。
 2017関東女子優勝、2018日本女子アマ優勝、日本ジュニア優勝。



六車日那乃
 2002年4月23日生まれ。
 2015～19年在籍。
 2017関東ジュニア優勝、2019関東ジュニア優勝。



佐久間朱莉
 2002年12月11日生まれ。
 2014～19年在籍。
 2016関東ジュニア優勝、2018関東ジュニア優勝、2019関東女子優勝。



小高平 優和
 1998年5月22日生まれ。
 2015～16年在籍。
 2012関東ジュニア優勝、2016日本ジュニア優勝。

上から、氏名、生年月日、「TEAM KGAジュニア」在籍、主な戦績の順

2期生には、JGAナショナルチーム入りした選手も在籍していた。坂本雄介、塚本岳、高橋彩華、畑岡奈紗、吉田優利、佐久間朱莉。



2014年「TEAM KGA ジュニア」ナショナルチームの主力へ



2013年関東女子決勝は「TEAM KGA ジュニア」の黄金期でした
 ① 永井花奈 (優勝)、② 佐藤麗華 (3位タイ)、③ 植竹希望 (3位タイ)、④ 河野美穂 (8位)、⑤ 畑岡奈紗 (10位タイ)、⑥ 金澤志奈 (14位タイ)、⑦ 山口すず夏 (16位タイ)、⑧ 伊藤菜奈 (16位タイ)、⑨ 岩崎美紀 (21位タイ)、⑩ 吉田優利 (25位タイ) 以上、日本女子アマ出場有資格選手。⑪ 真田来美、⑫ 石井理雄、⑬ 石川彩、⑭ 羽藤琴和 (敬称略)



佐藤 佐藤副理事長 2人がナショナルチームに選ばれて、本当にうれしく思います。佐久間、六車両選手には心から「おめでとう」と言います。
 佐久間選手・六車選手ありがとうございます。
 笠川委員長 両選手がいさつにきてくれるということ、私も佐藤副理事長も楽しみにしていました。2人とは長い付き合い。後輩たちも、頑張ればナショナルチームに上がれるという思いになります。
 佐藤 「TEAM KGAジュニア」の目標は、JGAナショナルチームで活躍できる選手を発掘・育成・強化です。2人がチームに貢献してくれたという思いがあります。
 六車 「TEAM KGAジュニア」で一番思い出に残っているのは、JGA主催の「8地区強化指定選手チーム対抗戦」です。今年私は私と佐久間さん、岩井千怜さん(埼玉栄高2年)の3人が女子から参加しましたが、KGAでの日々の研修会から学んだことをお互いに話し合い、それを試合で発揮することができました。

「8地区強化指定選手チーム対抗戦」で大活躍！
 佐藤副理事長 2人がナショナルチームに選ばれて、本当にうれしく思います。佐久間、六車両選手には心から「おめでとう」と言います。
 佐久間選手・六車選手ありがとうございます。
 笠川委員長 両選手がいさつにきてくれるということ、私も佐藤副理事長も楽しみにしていました。2人とは長い付き合い。後輩たちも、頑張ればナショナルチームに上がれるという思いになります。
 佐藤 「TEAM KGAジュニア」の目標は、JGAナショナルチームで活躍できる選手を発掘・育成・強化です。2人がチームに貢献してくれたという思いがあります。
 六車 「TEAM KGAジュニア」で一番思い出に残っているのは、JGA主催の「8地区強化指定選手チーム対抗戦」です。今年私は私と佐久間さん、岩井千怜さん(埼玉栄高2年)の3人が女子から参加しましたが、KGAでの日々の研修会から学んだことをお互いに話し合い、それを試合で発揮することができました。



左から。笠川ジュニア育成委員長、佐久間選手、六車選手、佐藤副理事長。



2019年「TEAM KGAジュニア」合同ラウンド研修会。

いったことを自分の強みに、来年はプロテスト合格を目標にし、将来は世界で活躍できるような選手になりたいと思っています。
六車 ナショナルチームでは分からないことも多いのですが、いろいろなことを考えるより、何事にもガムシヤラに全力で取り組んで



「第5回8地区強化指定選手チーム対抗戦」の男子チーム、左から、小林大河、中野麟太郎、新垣厚樹、女子チーム、岩井千怜、佐久間朱莉、六車日那乃の各代表選手。



ナルチームに選ばれる」と言われていたのに入ることができず、悔しかったです。
今年はこの試合で上位に入ればポイントが高いのかを考え、大切な試合に照準を絞ってプレーしていました。
六車 私は昨年から、ナショナルチームを目標にするようになりま

したが、最初のころは成績を残すことができなかったため、自分を見つめ直して強いところ、弱いところを分析するようにしました。
あえて結果を意識しないようにし、自分のゴルフをしようと思っただけです。
笠川 長く活躍している佐久間さんは、今年に力をつける思いは強かったと思います。六車さんも花が開いて活躍するようになり、すごいなと思って見ていました。いろいろなことが積み上がっていき、JGAに認められるまでになったんだですね。
佐久間 ナショナルチームの合宿では、KGAで学んでいた食事の栄養面でも、食事のメニューなどを一層深く、細かく、科学的に分析し、どのような成分が足りていないかなどを教わっています。
実践面でも試合前の準備として（グリーンへの傾斜を平衡器で計って戦略を練る）ゼロラインのことなどを詳しく学んでいます。そう

いきたいと思っています。
さらに海外に派遣される試合では成績をしっかりと残し、優勝を目指したいです。そしてJGAで教わったことを、KGAの後輩たちにも伝えていきたいと思っています。
笠川 「TEAM KGAジュニア」のモットーは「ハキハキ、キビキビ、明るく笑顔」。これはゴルフだけでなく、社会にも通じます。
ゴルフは楽しまなければいけない。楽しくやって自分自身の目標に近づいていけば、応援してくれる周囲の人たちも笑顔になります。そして2人のように卒業していった先輩たちが、後輩に伝える縦のつながりがあることで、チームとしての意味が出てきます。後輩たちはどのような話が聞けるか楽しみにしています。今後機会があれば参加してほしいですね。
佐藤 私たちのプログラムの基本にあるのは、ゴルフは技術だけではなく、その技術を通して自分の人生を見つめ、人間性を高めること。この考えが底流にあれば、ジャンプの一員となっても必ず成功すると信じて育成、指導をしています。そこから果立っていく2人には、これからも期待しています。頑張ってください。

(文・撮影 鈴木暁理参与)



佐久間朱莉選手



六車日那乃選手

2020年度「TEAM KGA ジュニア」認定選手 (男子32名 女子32名 計64名)

●クラスA男子 (12名) 左から。小室敬偉 (私立早稲田実業高2)、佐藤卓郎 (私立佐野日大高2)、新垣厚樹 (私立浜松日体高2)、仲宗根寛環 (県立神奈川総合高2)、林恭平 (私立湘南学院高2)、小林大河 (私立西武台千葉高1)、竹原佳彦 (私立早稲田実業高1)、中野麟太郎 (私立明治大学付属中野高1)、細谷幹 (水戸市立第四中3)、吉沢巳咲 (藤岡市立北中3)、清水蔵之介 (練馬区立八坂中2)、本大志 (横浜市立末吉中2)

●クラスA女子 (12名) 左から。阿部未来 (私立千葉黎明高2)、岩井明愛 (私立埼玉栄高2)、岩井千怜 (私立埼玉栄高2)、佐久間朱莉 (私立埼玉栄高2)、鈴木優芽 (私立埼玉栄高2)、六車日那乃 (私立麗澤高2)、市村杏 (私立佐久長聖高1)、中澤瑞来 (私立埼玉栄高1)、横山珠々奈 (私立宇都宮文星女子高1)、桑村美穂 (千葉市立蘇我中2)、手塚彩露 (南アルプス市立白根御勤使中2)、馬場咲希 (日野市立日野第一中2)

●クラスB男子 (12名) 左から。井出太陽 (川上村立川上中3)、伊藤誠汰 (横浜市立青葉台中3)、斎藤華怜 (三郷市立彦成中3)、末広大地 (胎内市立中条中3)、泊隆太 (高崎市立南八幡中3)、大飼泰我 (伊東市立南中2)、佐藤快斗 (私立埼玉栄中2)、志村由羅 (川越市立麗ヶ園中2)、花村秀太 (諏訪市立諏訪南中2)、常盤和也 (熊沼市立東中1)、橋詰海斗 (長岡市立栖吉中1)、山崎咲寿 (海老名市立社家小6)

●クラスB女子 (12名) 左から。佐藤心結 (私立明秀学園日立高1)、花田華梨 (私立ルネサンス高1)、吉澤柚月 (私立麗澤高1)、相原紗奈 (川崎市立宮崎中2)、関口碧 (私立埼玉平成中3)、大塚光瑠 (諏訪市立諏訪西中3)、伊藤二花 (私立麗澤中2)、上田零空 (多摩市立多摩中2)、茶木詩央 (共立女子第二中2)、大原幸々 (宇都宮市立国本中1)、二宮佳音 (みどり市立笠懸中1)、関中りょう (私立埼玉栄中1)

●クラスC男子 (8名) 左から。木暮凌太 (柏市立旭東小6)、小林麟太郎 (浦安市立日の出小6)、洗井晃太郎 (横浜市立瀬戸ヶ谷小6)、園部大翔 (狹山市立水宮小6)、大塚喜一 (諏訪市立豊田小6)、竹花颯汰 (越谷市立大相模小6)、吉田悠 (世田谷区立瀬田小5)、渡邊日向 (宇都宮市立清原東小5)

●クラスC女子 (8名) 左から。阿安優葉 (私立共立女子第二中1)、田中澄南里 (那須塩原市立三島中1)、西脇真帆 (小千谷市立小千谷中1)、國吉愛良 (千葉市立松ヶ丘小6)、新地真美夏 (座間市立相模野小6)、長澤愛麗 (身延町立西島小6)、荒木結衣 (港区立白金小5)、清水心結 (さいたま市立尾小5)

●クラスA男子 (12名)



●クラスB男子 (12名)



●クラスC男子 (8名)



●クラスA女子 (12名)



●クラスB女子 (12名)



●クラスC女子 (8名)





3位の平田泰博選手(右)は地元・静岡では知られた存在。4位タイの富田久三選手(中)は2016年、17年に関東ミッドシニアを連覇。志村幹夫選手(左)は日本シニア、日本ミッドシニアの常連として活躍。



決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	Total
1	田村敏明	小千谷	69	68	137
2	伊藤 司	セントラル	71	66	137
3	平田泰博	沼津	70	74	144
4	富田久三	静ヒルズ	74	72	146
4	志村幹夫	大洗	70	76	146

伊藤選手は2011年の関東シニアチャンピオン。田村選手は17年日本ミッドシニア王者で、昨年のアジアパシフィックシニアアマチュア選手権で、団体優勝した日本代表メンバー

ことを知る。
インは、違う組で回る2人の「マッチプレー」の様相となった。田村選手が追いつき、伊藤選手がまたリードする展開。一時は2打差があったが、田村選手が16番パー5で2オンに成功してバーディー。最終18番で伊藤選手がボギーをたたき、2人の死闘はプレーオフにもつれこんだ。



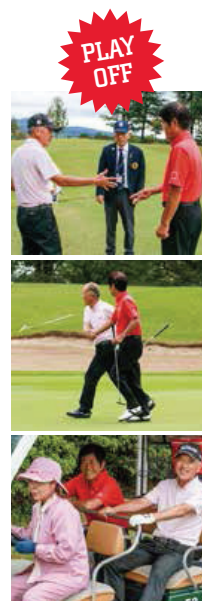
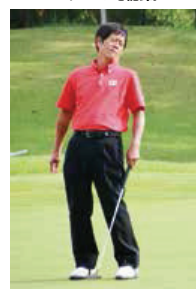
最年長

80歳の伊藤正幸選手は異なる100コースでのエージシュート達成が目標。今回で98コース目の記録達成!

でもある。
あと一歩で優勝を逃した伊藤選手は試合後、「でき過ぎですよ」と、さばさばした表情を見せた。「久々の試合出場で、気負うことなくプレーしたのが良かったのかもしれない」と、ラウンドを振り返った。
初めて関東のタイトルを手にした田村選手は「試合の2日前に38度の熱があり、欠場も考えたほど。無理をしなかったから、このスコアになったのかなあ。こういうゴルフもあるのだと実感した」と語った。
2人の実力者が、ともに自然体で持てる力を発揮した戦いだった。
(文・高岡和弘委員)

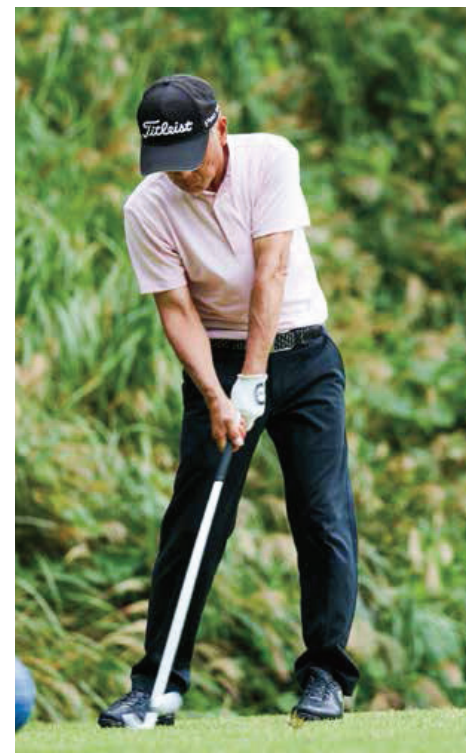


伊藤選手は2011年関東シニアの優勝者で「66」のベストスコアを記録。



実力者同士のプレーオフへ

田村敏明選手が7アンダー(69、68)で競技終了。誰も追いつかないと思われたが、伊藤選手が2日目に66の快スコアでプレーオフに。



小千谷の田村敏明選手が10メーのバットを決めて優勝!

2019年 関東ミッドシニアゴルフ選手権 決勝競技

実に高いレベルの優勝争いだった。初穂カントリークラブを舞台に行われた関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技。2日間36ホールを終えて67歳の田村敏明選手と65歳の伊藤選手が、7アンダーで並んだ。

1番ホール(パー4)で行われたプレーオフの1ホール目。伊藤選手がまず第2打を旗竿の上、約5メートルにつけた。後からグリーンを狙った田村選手は、二段グリーンに登りきれずに球が戻され、約10メートル前に2オン。だが、田村選手は上の段に登る時はフック、その後はストレートに近くなる難しいラインを読み切って沈め、ガッツポーズをみせた。

ライバルの見事なバットを見た伊藤選手は、驚いた表情の後で軽く苦笑い。勝負のバットはわずかに外れ、戦いに決着がついた。

この日、最初に驚いたのは田村選手の方だった。第1ラウンド、3アンダーで回り、首位発進。第2ラウンドでもアウトで3アンダーをマークし、最終組で一緒に回る選手を着々と引き離した。

ところがハーフタインの時、1組前の伊藤選手が6バーディー、ノーボギーの30で回っていて、1打リードを許す展開になっている

初穂カントリークラブ (群馬県)
6500ヤード・パー72
10月7日(月)～8日(火)
エントリー136名 出場128名

競技仲間が「鯉ちゃん」の初優勝を祝福 鯉沼良美選手は40歳を 過ぎてのコースデビュー

9月9日未明、千葉県を中心に猛威をふるった台風15号。関東女子シニアゴルフ選手権決勝競技が行われる予定だった袖ヶ浦カンツリークラブ新袖コースも、甚大な被害を受けた。

このため競技は約2週間順延され、18ホールに短縮されて行われた。この「短期決戦」を制したのが、鯉沼良美選手だった。

2016年の日本女子シニアで

3位、昨年の同競技でも8位に入るなど、最近では関東、日本の女子シニア競技でしばしば上位に顔を出す実力者だ。

ただ、60歳になって出場資格を得た今年の関東女子シニアゴルフ選手権では、最終18番ホールで崩れて優勝を逃すなど、頂点には届かないでいた。

この日は違った。3バーディー、4ボギーの73。終始安定したプレー

袖ヶ浦カンツリークラブ
新袖コース(千葉県)
5734ヤード・パー72
10月1日(火)台風のため
1日18ホール競技で実施
エントリー144名 出場128名



を続け、2位に1打差をつけた。女子プロのトーナメントが開催されている袖ヶ浦CC新袖コースは戦略性が高く、タフなコース。さらに林に入れると台風で折れた樹木や枝が生々しく残り、やや硬い特殊な状態のグリーンが選手を悩ませた。

その中で念願のビッグタイトルを手にした鯉沼選手は「マネージメントがうまくいった」ことを勝因に挙げた。

左にフェアウェイバンカーが待ち構える9番と18番は、ティーショットでドライブを使わず、グリーンを狙うショットとアプローチは、グリーンの形状と旗竿の位置を頭に入れて危険を避けた。ご主人に勧められてクラブを握ったのは41歳。学生時代は「鉄棒で逆上がりもできない運動音痴」だった。関東女子シニア選手権デビューの時は予選落ちした遅咲きゴルファーが、一歩一歩、階段



3位タイの中山慶子選手。新潟県をホームグラウンドにする強豪。シニアデビューから日本女子シニアに連続出場。



3位タイの平田悦子選手。日本(JGA)、関東(KGA)、千葉県の公式戦で常に上位にランクされる。



2位の森山明子選手。2011年から19年まで日本女子シニアに9年連続出場の、関東の代表的選手。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	Total
1	鯉沼良美	東松苑	73
2	森山明子	石坂	74
3	平田悦子	カレドニアン	75
3	中山慶子	紫雲	75
5	松尾智恵	平川	76
5	村上喜代子	京	76
5	田中真弓	成田東	76



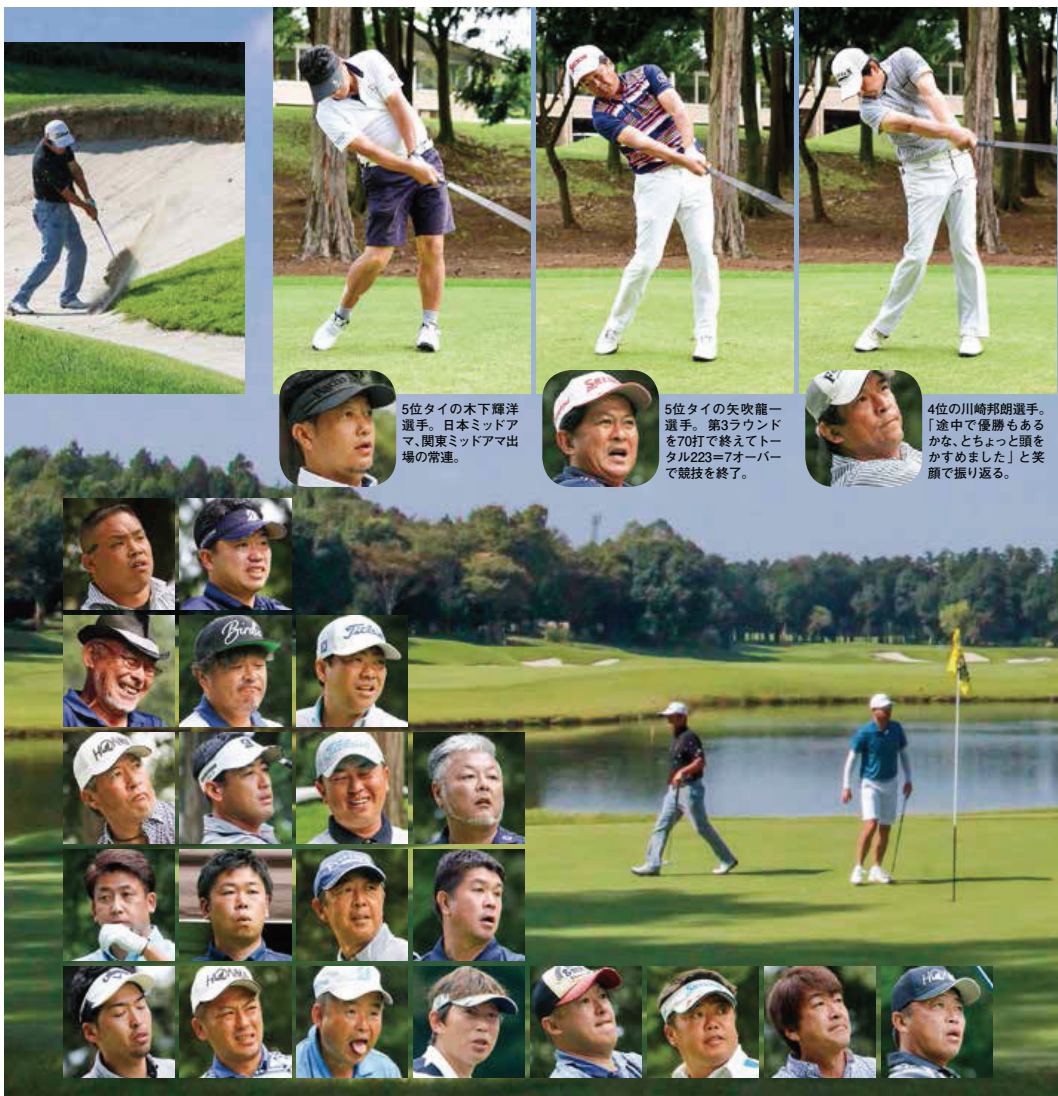
左から。5位タイの田中真弓選手、村上喜代子選手、松尾智恵選手。

左から。田中真弓、村上喜代子、松尾智恵、森山明子、鯉沼良美、平田悦子、中山慶子の各選手。



を上ってつかんだ頂点だった。表彰式で鯉沼選手は「昨日の練習ラウンドで、林の中に倒れた木が山積みになっているのを見て、被害の大きさに驚いた。よく試合ができる舞台をととのえてくださったと思う。こういうの(優勝スピーチ)に慣れていなくて、すみません」と挨拶。時折り、涙で言葉に詰まるスピーチに、初優勝の喜びがにじんでいた。

(文・高岡和弘委員)



5位タイの木下輝洋選手。日本ミッドアマ、関東ミッドアマ出場の常連。

5位タイの矢吹龍一選手。第3ラウンドを70打で終えてトータル223=7オーバーで競技を終了。

4位の川崎邦朗選手。「途中で優勝もあるかな、とちょっと頭をかすめました」と笑顔で振り返る。



2019年 関東ミッドアマチュアゴルフ選手権 決勝競技

2位の小原永司選手。第2ラウンドを終えて2オーバー、3位で最終日を迎えた。

3位の関徹也選手。11番、12番で連続バーディー、トータル4オーバーで上位にランクイン。

優勝の高橋雅也選手。トータルで唯一アンダーバーの1アンダーで終え、4度目の本競技優勝を達成。

先輩選手の日本シニアオープンの活躍が高橋雅也選手、4度目優勝の原動力に

関東地方に大きな被害をもたらした台風15号。その影響は会場となった茨城県・石岡ゴルフ倶楽部にも色濃く残り、コースを美しく彩っていた木々が、無残にも幹の途中から折れていることもあった。甚大な被害からわずか2週間余り。競技は予定通り9月25日に開幕することができた。グリーンキーパーからは「台風前の状態になかなか戻らず、力のなさを実感している」という声が聞かれたが、そんなことはない。選手たちは口々に「これほどの素晴らしいコンディションにコースを復旧させてくれて、感謝以外の言葉がない」と言い、競技ができる幸せを噛みしめながらプレーした。

高橋雅也選手もその一人だった。最終日を首位の堀江選手に1打差の2位でスタートし、前半を2バーディー、2ボギー。後半はボギーなしの2バーディーと危ないゴルフで2位に4打差をつけ、2年ぶり4度目の優勝を決めた。「すでに日本ミッドアマの出場資格を持っているから、他の選手からすれば邪魔者ではない。だから出るからには優勝しかないと思っていた」

かつて日本ミッドアマを2度制した48歳の「帝王」には、モチベ

ションを高める出来事がもう一つあった。

直前に地元埼玉の日高CCで行われた日本シニアオープンで、昨年の本競技覇者で52歳の水上晃男選手と50歳の金子光規選手がローアマを獲得。「尊敬する2人の活躍がすごく刺激になった」と言う。「関東アマなどでラウンドする、学生たちからも刺激を受けている。彼らは振ることを忘れてはいけないと思わせてくれる。コントロールばかりしていると、飛距離は落ちるから」

年長者はもちろん、若い選手からも多くを学び、自分のプレーを磨いていく。この姿勢こそが高橋選手の強さの源といえる。

(文・鈴木遍理 参与)

石岡ゴルフ倶楽部(茨城県)

7071ヤード・パー72

9月25日(水)～27日(金)

エントリー144名 出場136名

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	3R	Total
1	高橋雅也	嵐山	71	74	70	215
2	小原永司	つくばね	72	74	73	219
3	関徹也	赤城国際	77	71	72	220
4	川崎邦朗	龍ヶ崎	74	77	70	221
5	矢吹龍一	水戸グリーン	76	77	70	223
5	木下輝洋	皐月・佐野	71	78	74	223

両者、笑顔のデッドヒート 平林治子選手がプレーオフを制す

ミッドアマの関東女王を決める本大会も男子同様、台風の影響に見舞われた直後のコースで開催された。10月12日に日本に上陸した台風19号は関東地方などに記録的な豪雨をもたらし、会場となった茨城県・龍ヶ崎カントリー倶楽部

は13日(日)、14日(体育の日)をクローズ。100本以上の木が折れた台風15号の被害に追い打ちを掛ける被害で、フェアウェイには吹き飛ばされた木の幹や枝葉などが再び散乱した。大きな被害にもかかわらず、競

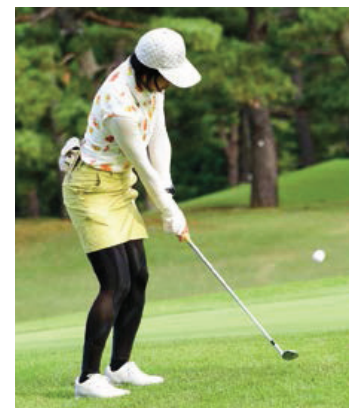
技は予定通りに15日からスタートすることができた。名匠・井上誠一氏の設計で、1958年に開場した自然美あふれるコースは、スタッフたちが2日間にわたって懸命な作業を続け、競技が支障なくプレーできる状態にまで復旧した。

その献身的な努力を選手たちも感じ取っていた。直前までの悲惨な景色を一変させる華やかな

龍ヶ崎カントリー倶楽部(茨城県)
6403ヤード・パー72
10月16日(木)
エントリー136名 出場127名

ウェアでコースを包み込んだ選手たちは、目前に広がる鮮やかな緑の芝生を前にすると自然と表情が緩み、思う存分にゴルフをプレーできる幸せをかみしめた。

そのような中でティオフした競技が、まれに見る熟戦となるのは必然だった。最終日は、初日首位の平林治子選手を1打差で追う原かおり選手が2番でバーディーを奪って追いつき、その後も抜きつ抜かれつつの展開。17番パー5で原選手が第3打を1打につけるバーディーで再び4オーバーと首位に並び、18番はともにパー。決着は10番パー4を使ったプレーオフにもつれ込み、第1打を左ラフの斜面に曲げた原選手が、グリーン左ラフからの寄せもオンさせることができず、決着。平林選手が2年ぶり2度目の優勝を飾った。



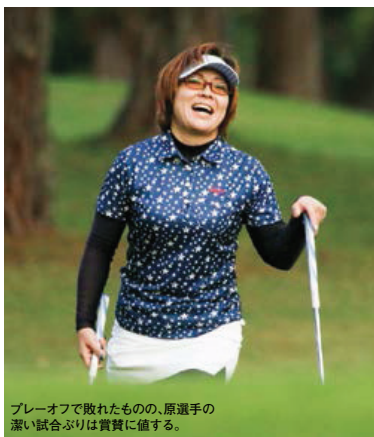
プレーオフ。勝負を決めた平林選手のチップショット。



10月16日の天候 曇り/気温: 17.6度/風向: 東北東/風速: 5.1m/s



最終組でプレーした原選手が75でラウンドし、平林選手と同スコアでプレーオフ。1ホール目で原選手はショートアプローチに失敗し、平林選手が2年ぶり2度目の優勝。



プレーオフで敗れたものの、原選手の激しい試合ぶりは賞賛に値する。



入賞者と出場選手。下左から。近賀博子、斎沢良子、原かおり、平林治子、久保田玲、松尾律子(上列右端)の各選手。

最年長と最年少

松山朱実選手は64歳(上)。最年少出場の鈴木ありさ選手(下手前)は満24歳、久保田玲選手(奥)は満25歳。

決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	Total
1	平林治子	都留	72	76	148
2	原かおり	龍山	73	75	148
3	久保田玲	新千葉	77	74	151
4	松尾律子	ギャツピー	79	75	154
5	斎沢良子	江戸崎	79	76	155
5	近賀博子	久邇	75	80	155



2日間の日程を無事に終えた。表彰式は、最も称えられるはずだったグリーンキーパーが、復旧作業に専念したいからと出席を辞退する中で行われた。池谷正成KGA理事長は「台風の影響にもかかわらず、コースが非常によく整備されていて驚いた」と、龍ヶ崎CCに感謝。その思いは選手、関係者の全員が同じだった。

(文・鈴木遍理 参与)



64年東京五輪当時、福島参与は東京中日新聞記者として開会式から閉会式まで連日、取材に飛び歩いた。

2020年の夏には、2度目の東京オリンピックが開かれるので、55年前に思いを馳せた。前回の1964年10月10日、東京五輪の開会式は雲ひとつない青空だった。

「世界中の青空を東京に集めたような……」とは、NHKの中継アナウンサーの言葉だ。やがて航空自衛隊のブルーインパルス編隊が、五輪の輪を描きながら青空高く飛んだ。

今年の10月10日に、64年大会を記念して創設された『駒沢オリンピック公園』に足を運んでみた。今は都民のオアシスになって



KGAA 1965~2020 (第5回) 東京GC駒沢の跡地が東京五輪の会場に 世界中の青空を東京に集めた日 1964年『東京オリンピック』の偉業

いるが、五輪前の昔を振り返ってみると、日本における日本人の手による、会員制のゴルフ倶楽部がここにあった。東京ゴルフ倶楽部、発祥の地だ。

1932年、東京GCは埼玉県の朝霞に移転した。コースは東急電鉄に譲渡され、パブリックコースとして栄えた。1940年に、計画倒れに終わった「幻の東京五輪」の、メイン競技場の建設予定地でもあった。

現在、駒沢通りから自由通りに入ってすぐの駒沢公園内に、駒沢オリンピック公園の名称を刻んだ大きな石碑がある。その辺りに駒沢コースの11番ティーマットがあった。さらにその奥が10番グリーンだった。

高層ビルの建設が進み、東海

道新幹線が開通し、高速道路も走り、東京は変わった。駒沢オリンピック公園になって以来、ここに関東で一番古いゴルフ倶楽部があったことを語る人も少ない。

さらにその奥まった一角に競技場が残り、並んで東映フライヤーズの本拠地『駒澤野球場』があった。

公園内の東側を貫通する駒沢通りを挟んで体育館がある。かの『東洋の魔女』といわれた日本代表がソ連を破り、金メダルを手にした歴史が残る。激闘の末にマッチポイントを迎えると、テレビ中継のアナウンサーは「金メダル・ポイント！」と絶唱した。

1924年4月19日、ここ駒沢で日英皇太子によるゴルフ親善マッチがあったことはさらに深い歴史だが、どこかに消えたような気がした1日だった。

(文・福島靖参与)

2019年 関東女子ミッドアマチュア ゴルフ選手権決勝競技



平林治子選手 ウィークエンド・ゴルファーは 多忙なシステムエンジニアです



人類が生み出した偉大な文化の一つがスポーツであることは、疑う余地のないところだ。日本中を熱狂させたラグビーのワールドカップ、そして8万枚のチケットが完売してタイガー・ウッズの優勝と松山英樹の奮闘が感動を呼んだ国内初開催の米PGAツアー、ZOZOチャンピオンシップも、日本に新たな風を吹き込んでくれた。

それでは「文化とは何か？」と問われれば、私はクオリティ・オブ・ライフ(QOL)、すなわち人生の質を向上させる手助けをしてくれるものだと思う。

25歳以上の子が参加資格を持つ女子ミッドアマは、その典型的な競技といえる。いまや日本女子アマチュアゴルフ選手権をはじめ、全国各地の年齢制限のない女子アマ競技はプロ指向の、10~20代前半が上位争いの中心となっている。しかし、仕事や家庭を抱える選手が大半であるミッドアマの世代にとって、ゴルフは生活手段を目的とするものではなく、人生の質を向上させるものにほかならない。

今年の関東女子ミッドアマをプレーオフの末に制し、2年ぶり2度目の優勝を飾った平林治子選手の事はシステムエンジニアだ。20代まではテニスに熱中したが、ひざを痛めて手術してからは同じ会社に勤める夫の勧めもあってゴルフを始め、本大会には2007年から13年連続で出場。月曜から金曜までは仕事に専念し、練習は土、日曜日しかできない。「土曜日に前週の練習や課題の思い出から始まり、日曜日に主人とラウンドしてこんなものかなと思ひ、翌週の土曜日にまた思い出し。その連続です。でも、ゴルフが好きだから集中できている」

平林選手が勤務する会社は台風19号の影響で、浸水と停電の被害に遭った武蔵小杉の近辺にあり「周囲が復旧にあたっているなか、私はこの2日間、お休みをいただいた。これで成績が悪いと、明日はどんな顔をして出社すればいいのか、と思っていた」と胸をなで下す。

昨年の覇者で今回は37位タイだった寺内梓選手も自宅が浸水被害に遭いながら、家族が試合に送り出してくれた。彼女たちを支え、応援してくれる会社や家族も、文化であるゴルフ、そしてスポーツには欠かせない存在なのである。

(文・鈴木暹理参与)

連載●1都10県地域通信

現場の声に集客のヒント

第2回 群馬県・栃木県・茨城県

群馬県 ゴルフで輝く健康群馬

「ゴルフで輝く健康群馬」をスローガンに多岐にわたるゴルフ振興策を実施

群馬県はジュニア、レディース、シニアと、多岐にわたるゴルフ振興策を実施しております。

2015年4月1日より、「一般社団法人群馬県ゴルフ振興基金」を設立し、現在35ゴルフ場が加盟しており、ゴルフの振興活動に貢献しております。

ジュニアの発掘と育成

将来のグッドゴルフア・育成のために、プロゴルフ会やKGAジュニア委員の指導のもと、JGAジュニア会員を対象とした、特別強化選手のラウンド研修、練習場でのレッスンを実施しております。

特別育成のゴルフスクールも月1回開催し、小学生組と中学生組が0・5R、1Rを交互に、競技形式でプレーを行なっております。

小学生3年生以上、初心者対象の初級者ゴルフスクールも練習場にて実施、プロゴルフファターのレッス

ンを受けております。
また、体力増強の講習会も毎月実施、食育についても親子対象で推進しております。

女性ゴルフファターの振興

群馬県はプレー料金が相対的に安価であることから、女性のゴルフ場利用率が全国トップクラスです。各ゴルフ場への帰属意識を高め、仲間との親睦や交流を深めていただくために、関東ゴルフ連盟の女子倶楽部対抗競技に先駆けて、1996年より「群馬県

シニアの親睦と交流

長年、倶楽部対抗競技などで関東に名を馳せた選手を中心として、シニアゴルフファにこれからの競技ゴルフを楽しんでいただきたいと願い、2013年より60歳以上が対象の「群馬県レジェンドカップゴルフ場対抗競技」を、毎年開催しております(協会主催)。
予選2会場、決勝1会場で、知名度の高まりと、各ゴルフ場の集客努力により、毎年延べ600名の参加規模となっております。

ゴルフで地域活性化

県内のゴルフ各団体が開催する競技は、群馬県オープンゴルフ選手権をはじめ、予選を含むと60を超えます。
一丸となってゴルフ振興に取り組み「ゴルフで輝く健康群馬」の実現を目指しております。

栃木県 「栃木県ゴルフ振興基金」を活用

県内ゴルフ界の活性化を目指し積極的に活動中です

「WAGシニアスクール」

本年9月より2か月間、那須伊王野CCと東松苑GCにおいて、栃木県、足利市、那須町後援のもと、ゴルフ未経験者および初心者

のシニアを対象としたゴルフスクールを実施しました。
本スクールは、ウイズ・エイジングゴルフ協議会(WAG)の「ゴルフで楽しく認知症予防」を掲げた認定スクールとして開催し、県内27名の受講者が参加しました。受講料は、登録料の1000円のみ。全8回で、スナックゴルフからコースラウンドまでのスクールを実施しました。



「初心者のためのゴルフ教室」

2016年より県内ゴルフ練習場の協力を得て実施しています。3月、4月の毎週1回、全5週。



「ラウンド体験ゴルフ教室」

最初に「初心者ゴルフ教室」を



今年より日曜日コースを増やしました。40名が受講。受講料3000円。

今後の展開は?

- ☆各ゴルフ教室は、今後も継続して実施します。
- ☆県内地域でのゴルフ競技・ゴルフイベントへの支援として、各市町村の後援を条件に、参加人数規模により助成金を支出します。
- ☆「栃木県オープンゴルフ選手権」等、既存競技会にさらなる支援をいたします。
- ☆新しい競技会として「栃木県クラブ対抗競技」を実施します。KGA主催の倶楽部対抗予選競技とは別に、栃木県独自のクラブ対抗競技を実施します。
- ☆ポータルサイトと提携し、栃木県へゴルフア誘客活動を強化します。
- ☆栃木県ゴルフ連盟へ、国体選手の競技力アップを目的とした支援をいたします。

茨城県 国体優勝の勢いを集客に

手間を惜しまず
きめ細かい奉仕で
底辺拡大に手応えあり

ジュニア育成講習が
年々盛況で420名超に

茨城県ゴルフ場協会が主催となつて、ジュニアゴルフ育成または発掘のために、加盟倶楽部への推進を行っています。
今年の開催コースはフレンド



シップカントリークラブ、ザ・オーシャンゴルフクラブ、桜の宮ゴルフ倶楽部に加え、ダイヤモンドグリーン倶楽部も実施。参加者は延べ420名を超え、年々増加傾向にあります。
また、ラウンドレッスンには、派遣料を含めたレッスンプロの手配と、レンタルクラブが必要な場合もハーフセットを協会が準備しています。
これからも3世代スポーツのメリットと、各地域性を活かした計

画を実行します。

アンダー40を応援企画 特別料金と各種サービス

若年層を応援する活動として、19歳~39歳以下のアンダー40に対し、各コースで決めた特別料金を設定または各種サービスを展開しています。初心者からアマチュアゴルフアまで幅広い対応を鑑み、0.5ラウンド追加無料、レンタルクラブ無料、フルバックティーの使用、その他の特典やアトラクションも実施しています。
近年のクラブは機能性が高まり、若い世代の飛距離や運動能力を捉えることも、ゴルフ場側としてのサービスの一環と考えます。

ゴルフ4団体と協働 国体ゴルフで総合優勝!

2019年に引き続き、2020年度も「茨城県ゴルフ場協会」「茨城県全重支配人会」「茨城県プロゴルフ会」「茨城県アマチュア連盟」と協力ならびに連携を計画します。
2019年は第74回国民体育大

会において、成年男子が大洗ゴルフ倶楽部にて、女子・少年男子が穴戸ヒルズカントリークラブにて開催され、ゴルフ競技についても本県選手、監督、役員を派遣するなどの協力を見せました。
結果、総合優勝を達成するなど、各団体の情報共有はもとより、業界全体で盛り上げました。

自然災害に強い ゴルフ場運営を目指す

防災・減災・危機管理に関する取り組みについて、各団体・行政との連携を見直します。

近年の異常な気候変動による水害被害を目の当たりにし、茨城県は数多くに点在するゴルフ場の、価値と危機管理を高めます。

また、互いに取り組んできた経験と実績が、より一層飛躍する契機となるよう総合的に勘案します。
災害が発災した際にも、より確実に見込まれる事務事業の相互調整を遂行し、支援計画の実効性を担保するとともに、地域に根差すスポーツとして未来を見据えた計画を進めます。

Tournament

競技委員会月例競技部会 赤澤正輝部会長にQ&A 50年の歴史を誇る『KGA月例競技』の魅力 腕に覚えがあれば、誰でも参加できます



「KGA月例競技」は、関東アマや関東女子ゴルフと並ぶ実力が要求されます。敷居が高そうですね?

赤澤正輝部会長 腕前を試すだけが目的ではありません。50年ほど前にKGA加盟倶楽部の研修会メンバーが集まって「ターフライダース」という、私的なコンペを開いていました。

参加者はそこでルールやマナーを学び、所属倶楽部に持ち帰って会員に広める啓蒙活動もやっていました。親睦と協調の良き伝統は、今日に続いています。

「KGA月例競技」参加者の顔ぶれ、腕前、年齢などは?

赤澤 今年から出場資格が変更されました。男子のJGA/USGAハンディキャップインデックスが3.4から6.4に。女子は9.4から12.4に緩和されました。

た。ハードルが下がったので、参加者が増えています。

出場制限は前記のハンディキャップだけで、高校生からシニアまで、予選なしに誰でもエントリーが可能です。男女の使用ティーを変えて、同日・同コースでプレーします。

「マナー、エチケットを尊重する」のが競技の伝統ですね?

赤澤 当日欠場、遅刻早退は「参加資格喪失」と厳しく、最も重い罰は無断欠場で、7回の出場停止です。表彰式には全員出席が鉄則です。サボれませんよ。(笑)

月例競技の規模は?

赤澤 男子約80名、女子30名から40名が出場します。運営はKGA月例競技部会委員8人が担当し、5月を除く11か月の毎月ですから、月例競技部会委

赤澤正輝部会長



KGA月例競技杯

2019年 KGA月例競技 成績

月日	会場	男子優勝者	所属	スコア	女子優勝者	所属	スコア
1月15日(火)	袖ヶ浦カントリークラブ 袖ヶ浦コース(千葉県)	澤田 信弘	茨城	67	星野 杏奈	大宮国際	77
2月12日(火)	程ヶ谷カントリー倶楽部(神奈川県)	小原 淳	愛鷹	69	稲垣 那奈子	東京五日市	71
3月12日(火)	相模原ゴルフクラブ 西コース(神奈川県)	石坂 友宏	JGM セベ/バステロス	70	稲垣 那奈子	東京五日市	72
4月26日(金)	メイプルポイントゴルフクラブ(山梨県)	夏堀 裕大	水戸レイクス	69	山崎 優	東京五日市	72
6月10日(月)	狭山ゴルフクラブ 東・西コース(埼玉県)	岡田 貴弘	ノーザン錦ヶ原	72	山崎 優	東京五日市	74
7月17日(水)	千葉カントリークラブ 梅郷コース(千葉県)	庄司 由	東千葉	70	森 はな	オリムピック	72
8月19日(月)	龍ヶ崎カントリー倶楽部(茨城県)	庄司 由	東千葉	69	直井 梨瑛	千葉	73
9月13日(金)	武蔵カントリークラブ 笹井コース(埼玉県)	庄司 由	東千葉	68	近賀 博子	久通	74
10月21日(月)	ザ・ロイヤルゴルフクラブ(茨城県)	末岡 台	水戸レイクス	74	松原 由幸	ノースジョア	75
11月11日(月)	鷹之台カントリー倶楽部(千葉県)	高野 隆	柏崎	70	星野 杏奈	大宮国際	74
12月9日(月)	小金井カントリー倶楽部(東京都)	坂輪 成章	平川	70	稲垣 那奈子	東京五日市	71

今、そして将来を見据えたコース改修

—東京ゴルフ倶楽部の場合—

ゴルフコースは経年で形を変える。それにギアの進歩も加わると、当初のデザインコンセプトとは、全く違うものになる。こうした変化に対応するにはコース改修が必須だ。今回は、1つのケーススタディとして、埼玉県東京ゴルフ倶楽部にスポットを当てた。

東京ゴルフ倶楽部（18H）の改修工事は2期に分かれている。第1期が2009年10月～翌年10月、第2期が2017年10月～19年5月である。同GCのグリーンはベンクロス（朝霞グリーン）とアート1号（知々夫グリーン）の2ペントだったが、ベンクロスの状態が悪く、コース改修の話が持ち上がった。そのため、第1期工事はベンクロスグリーンとその周辺が中心だったが、第2期にはもう1つのグリーンだけでなく、フェアウェイ（FW）やティーなどコース全体の改修が実施された。なお、グリーンについてはベンクロスから007へ、アート1号からDC1へそれぞれペントの最新品種に転換をし、面積も10%前後拡大した。

「改修によって、老若男女の幅広い層が楽しめて、なおかつトナメントも可能なコースにすることを目指しました。そして結果的には、2グリーンの特徴を最大限生かすように、18ホールでも36ホールのような2つの攻略ルートを持つコースになったと思います」

と、当時のコース改造委員長で現・グリーン委員長の相馬仁胤氏は語る。

大掛かりなコース改修では、倶楽部側の明確な意思と設計者の力量・センスが重要な鍵になる。設計を依頼したのは、世界的に著名なコースデザイナー、米国人のギル・ハンスだった。「大幅な改修であっても、倶楽部として本来あった大谷光明の設計思想が窺えるものでなければならぬ」

ばなりません。何人もの候補がいましたが、当倶楽部はC・H・アリソンが朝霞コースを設計し、そのアリソンに師事した大谷光明が現コースを設計したという歴史を踏まえて、アリソンの師匠でありパートナーでもあるハリ・コルトを学んだギル・ハンスが適任だろうということでした」（相馬氏）

倶楽部側の考え・意向を理解し、なおかつ原設計の意図を解釈する。それが米国人に十分できるのか。

「ギルは来日して最初に京都の庭園を観に行きました。その後もコースの視察を重ね、日本の美の感覚、そして文献だけでは窺い知れない大谷光明の設計思想を肌感覚で掴んだようです」（相馬氏）

樹木を1650本も伐採

原設計を念頭におく改修では、昔と現代のプレイスタイルのギャップが問題になる。それは、設計家の能力だけでなく、2013年に100周年を迎えた同倶楽部にとって、歴史や伝統を見つめ直すことにもなる。

「米国ペンシルバニア州のオークモントCCが、大胆な樹木伐採による景観の回復や芝のコンディショニング向上などで話題となったことをご存知の方も多いと思います。今回の改修でも、日光を遮り、時に攻略ルートの邪魔になるほど大きくなった樹木を1600本以上伐りました。そもそも東京GCのオリジナル設計に樹木はさほどありません。今回の改修によって景観や大地の自然が引き立つたことで、改めて大谷氏のオリジナル設計のDNAを受け継ぐことができたと思っています」（相馬氏）

ギル・ハンスは、その土地の地形を生かしつつ、現場を観てコースを見つけていく手法「ナ



15番は林帯を取り取りFWを広げ、バンカーも造り変えと増設をした

つとよいホールになる」と言われました。ギルの頭の中では伐採して芝を張った後の絵が見えていたのだと思います」

たとえば、4番のパー3は片方が打ち上げ、片方が打ち下ろしになった。樹木は伐採だけでなく、移植も行っている。

「練習場に隣接する9番は右ラフが広く練習場との境に林帯がありましたが、アクセントがないとのこと、その樹木をFW近くに移動しました」（相馬氏）

樹木の移植はかなりの費用と手間がかかる。しかも、安定して活着するまで数年を要する。

「今のところ順調ですが、あと5年くらいしないと安心はできません」（柴沼キーバー）

FWラインも大胆に変更

昨今行われている多くのコース改修同様、プレーヤーの飛距離を考慮して、バンカーの位置も変えている。全てのバンカーに何らかの手を加えており、数も109個から117個に増えた。また、バンカーをいじるとFWラインも変わってくるものだが、その点でも同倶楽部は思い切った改修を行った。

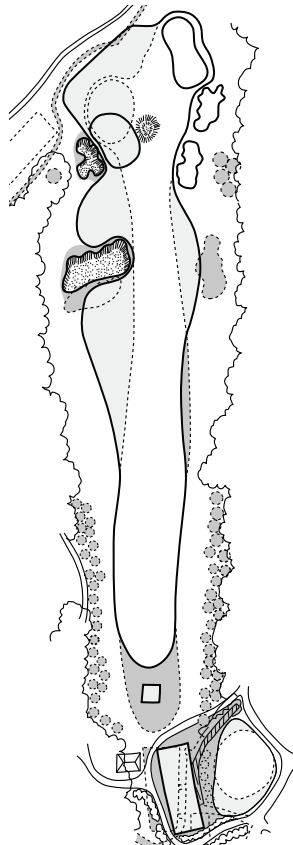
「FWの面積は約3万2000㎡増えています。多くはFWラインを変えてバンカーの前後のFWを広げて、逃げ場所というか安全なルートを作りました。単に難易度を上げるといふより、幅広い層にそれぞれの戦略

ルートを見出せるようなレイアウトになっていきます」（相馬氏）

FWラインがかなり変わっているのに、グリーンからの景観は全く違う。グリーン周りの景観も違っている。さらに数は少ないが、これまで地下にあった水路の一部を表面に出してクリークとしたり、クリーク部分を広げて池のようにしたりする工夫もしている。ただし、これは戦略面というよりも、最近の降雨対策の意味合いもある。

「大規模な改修でしたが、ゴルフコースは常にアップデートしていかなければと考えているので、今後もギルとはアドバタイザー契約を結ぶ予定です」と、相馬氏は最後に語った。

「チュラリズム」を基本的な設計思想としている。一緒に現場を歩いてチェックした同GCのグリーンキーパー、柴沼朋彦氏は何度も驚かされたという。



1番ホールのマスタープラン。点線が以前のFWライン。左FWバンカーをグリーン側に移設し、右FWバンカーは撤去。それぞれFWを広げた。左グリーンをずらし、ガードバンカーも直し、「チップングエリア」を設けた。FWラインが変わってグリーンごとに攻略ルートの違うホールとなった

2019年 関東シニアゴルフ選手権 決勝競技

館 英樹選手

「20年来の“相棒”と
シニア競技で復活しました」
強い味方のロングパターで
関東と日本を制す！

「いやあ、一時は競技辞めようかな、と
思ったんですよ」と、陽に焼けた顔で
饒舌に語る館選手。その背景は4年
前のルール改訂前まで遡る。

それまで関東ミッドアマなどのタイ
トルを獲得し、以前から関東屈指の名
プレーヤーとして活躍を見せていた館
選手。ところがルール改訂により相棒
のロングシャフトパターでのパッティ
ングに規制が入り、大きくパッティ
ングスタイルの変更を余儀なくされた。

その後はレギュラーレングスの
パターを使い競技に参加も、そのパ
フォーマンスは従来のようにはいかな
い。パッティングから組み立てていた
生命線が崩れると、影響はショットに
および、いよいよゴルフへのモチベー
ションが上がらないスパイラル。

そんな中、シニアへの仲間入りも近
くなった55歳を前に、ふと手にしたパ
ターは10年以上前のモデル。46イン
チあったシャフトレングスを自ら43
インチにカットした。するとパッティ
ングへのフラストレーションが徐々に
なくなり、その後の活躍は語るもがな。

館英樹選手は日本シニアゴルフ選
手権（兵庫県川西市・鳴尾GC）に初出
場し、逆転で初優勝の快挙達成。そ
の笑顔には20年ともにしてきたロング
シャフトパターとの復活劇があった。

（文・富澤 仁委員）



「気が遠くなる作業」が延々と。完全復興にはまだ道のり遠く 台風被害と格闘した新袖コース

9月9日、関東に上陸した台
風15号は、風速50メートルを超
える暴風を伴い、千葉県を中心
に多くのゴルフ場にも甚大な被
害をもたらした。

関東女子シニアゴルフ選手権
決勝競技会場の袖ヶ浦カンツ
リクラブ新袖コース（千葉市）
は、樹木約2000本が折れ、
枝や葉がコース全体を覆った。

同競技は、約2週間順延され、
10月1日に行われることになっ
たが、その日に向け、ゴルフ場
の苦闘が始まった。

停電は、約10日間。電気、水
も使えない状態の中、大きな枝
などは従業員総出で拾い、折れ
た樹木は切断し、ホールの間の
林に積み上げて、プレー可能な
エリアを確保していった。
グリーンキーパーの嶋村晃

コース管理部長代理は「気が遠
くなる作業だった」と振り返る。
嶋村さんはじめ、多くの従業員
の自宅も停電し、ロウソクの明
かりでしのぐ日々だった。

営業再開にこぎつけたのが、
競技のわずか3日前だった。

ただ、林の中は、搬出が間に
合わなかった樹木が折り重なっ
ている。KGA競技委員会は、
通常体制より4人増員。競技開
始前、全委員が木が折り重なる
林で適用するルールを確認し合
い、異常事態に対応した。

この努力に応えようと、関東
女子シニア選手権で2位になっ
た森山明子選手は「普段以上に
必死にプレーをした」という。
ロッカー室内には、選手の発案
でコースへの募金箱が設けら
れ、激励金が次々と入れられた。

ゴルフが、競技ができることへ
の感謝の気持ちを、あらためて
思い起こす一日ともなった。

10月15、16日に関東女子ミ
ッドアマチュアゴルフ選手権決勝
競技が行われた龍ヶ崎CC（茨
城県）も、開幕のわずか3日前
に襲来した台風19号による倒木
や折れた枝、葉を前々日よりク
ロースして懸命に片付け、予定
通りの開催に間に合わせた。



10月の台風19号は、記録的な
豪雨を伴い、特に河川敷コース
は軒並み、過去最大の被害に見
舞われ、泥など大量の堆積物が
コースを覆った。このため、多
くの河川敷コースが長期休業を
余儀なくされた。

東日本支配人会は、被害を把
握するためアンケート調査を实

施。「コース管理機器、車両、
90台のカー트가水没」（埼玉県）
など、想像を絶する被害が寄せ
られた。

千葉県のアンケートをまとめ
た古池伸吉同県ゴルフ団体総合
事務所長は「大打撃を受けたゴ
ルフ場への何よりの励ましは、
再開後、多くのゴルフ場が来
てくれること」と話している。

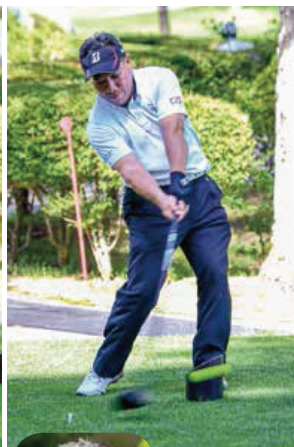
（文・高岡和弘委員）



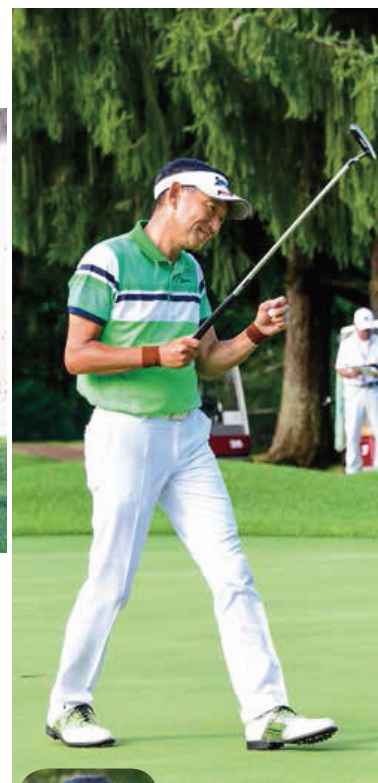
台風被害からの復旧作業の苦闘を語る嶋
村晃さん。



衣笠洋司選手。
最終18番でイーグル！
順位を5位から3位タイ
にランクアップ。



中島正春選手。
第1ラウンド同様、第2
ラウンドもパープレー
(16番ホールまで)を続
けた。

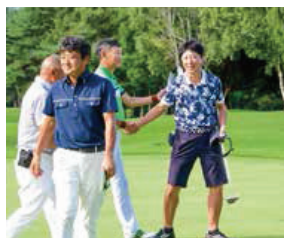


和田博選手。
第1ラウンドで猛ダッシュ(67)
の館英樹選手に、3連覇を阻止
された。



穂高カントリークラブ
(長野県)
6740ヤード・パー72
9月5日(木)～6日(金)
エントリー141名 出場132名

木村利治選手。
悪天候のため1日競技の2015
年を除いて、14年(2位)、16年
(2位)、17年(2位)、18年(5位)、
19年(5位)と連続入賞を続け
ている。



決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	1R	2R	Total
1	館 英樹	富士笠岡	67	73	140
2	和田 博	袖ヶ浦	71	73	144
3	衣笠洋司	八王子	74	71	145
3	中島正春	皐月・佐野	72	73	145
5	木村利治	水戸グリーン	74	72	146



上重修選手が8番パー3(182ヤード)で達成。使用クラブ
は5番アイアン。



特別表彰

本決勝競技(連続)15回出場
の宮本清選手(左)。「来年
70歳です。連続出場の秘訣
は一所懸命さ。それには健康
であること。そして飽くなき
飛距離の追求でしょう」

本決勝競技(連続)10回出場
の亀井隆選手(右)。「連続
10回出場のうち9回はシード
で、1回だけ昨年に予選競技
を経験。その最終18番でパー
ディーを決めて予選通過。
決勝競技は2位。そしてその
後の日本シニア選手権では
優勝できました」

2019年 関東シニアゴルフ選手権 決勝競技

館英樹選手が和田博選手に昨年の雪辱 特筆すべきは全選手を結ぶ「Play Fast」の精神

令和元年の関東シニアゴルフ決勝競技は、標高800mの高原から眼下に安曇野の拡がりを見下ろす穂高カントリークラブを舞台に開催された。

2000本を超えるという見事な赤松と、清々しい乾いた風を受けての最終日のプレー。スタート時間での気温は19度と、猛暑の都会から逃れて快適なコンディションでの開催となった。

関東の猛者たちの頂点に立ったのは館英樹選手。初日67の5アンダーと一人スタートダッシュし、最終的に2位の和田博選手に4打差をつける圧勝であった。そこにはシニアデビューの昨年、小千谷カントリークラブで開催された同競技での、悔しい敗退へのリベンジがあった。

前回大会、最終日を同様に首位で迎え、残り2ホールとなりなが

ら最後には和田選手に逆転を許し、優勝を逃した苦い思い。今年、2人は最終日・最終組と舞台は揃った。ただ今年は、厳しいパットを決めることで、他のプレーヤーの追撃のモチベーションを萎えさせる場面が、終盤のホールでいくつも見られた。

館選手の好調なプレーを支えたのは、そう、相棒のロングシャフトパター。この20年来的パートナーとの悲喜こもごもについて、優勝インタビューでは言葉が止まらなかった。

さて、本競技で特筆すべきが参加各プレーヤーの、そのプレー時間の速さ。ショットの事前準備から他のプレーヤーのボール探し、暫定球に至るまで、全員が「Play Fast」とお揃いのシャツを着てラウンドしているかのよう。

我々すべてのゴルファーがグッドプレーヤーになる模範にすべき、本日の決勝競技であった。今後もゴルフ文化の良き継続に、益々のリーダーシップを発揮して欲しい諸先輩方に、その活躍と次年度以降の再会を期して。

(文・富澤仁委員)

日本オープン開催の横浜CCで 気分はトップアスリートに

ゴルフは「自分との闘い」とよく言うが、ハンディキャップ戦はまさに自分の力量とハンディキャップを把握し、「ハンディを生かす」戦いをするのが大切だ。

昨年の日本オープンが開催された横浜カントリークラブが舞台となった関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権―KGA杯―。9番は日本オープンと同じホー

ルロケーションという競技委員会からのお楽しみも用意され、冷たい雨にもかかわらず、熱い戦いが繰り広げられた。

男子の部優勝を果たした山本義久選手は、建設業や運送業の仕事で体を何度痛めてはゴルフを中断。両肩の故障から復帰したのが3年前で、今も「肩が回らないからドスライスはばかり。左ひざが痛ん

で、左に体重が乗せられない。でも、その体に付き合うことが大事」と話す。

コースの左端から大きくスライスしてフェアウェイに落とすゴルフに徹し、スタートの1番で9、最終18番（ともにパー4）で8を叩いても、山本選手は「これが本来の力」と笑い飛ばす心のゆとりで、グロス90、ネット66でまとめた。

女子の部優勝の前畑美樹子選手は、50歳からゴルフを再開して9年目。「横浜CCのグリーンは、私には難しすぎる。全ホール3パットでもいい」と気楽に考え、3パット4回、1パット3回に収めたのが勝因となった。

「83歳の母、23歳の次男と三世代一緒に回るのが、何よりの楽しみ」と前畑選手。そういえば、この試合には、年齢は88歳から19歳まで、ハンディキャップは3から35まで、実に幅広い層の選手が参加した。各世代のトップアマの争いとなる他のカテゴリーとはまったく違う。笑顔にあふれ、ゴルフの楽しさを伝える試合でもあった。

（文・高岡和弘委員）

上から下までゴルフブランドの、個性的なレインウェアです。



「親が言うのもなんですが、とにかくいい息子なんです」と、母親の今平正美選手。その息子とは？

「ミスターアンダーハンディ」と小谷野利三選手は、アンダーハンディ競技の輝かしい記録保持者。88歳の今も挑戦中です。



左から。山本義久、竹田光男、竹澤康明、岩淵謙一、広木伸一の各選手。

男子の部 決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	GROSS	HDCP	NET
1	山本義久	佐原	90	24	66
2	竹田光男	オリムピックナショナル	80	13	67
3	竹澤康明	長岡	83	13	70
4	岩淵謙一	KGAカード会員	98	28	70
5	広木伸一	KGAカード会員	86	15	71

最終18番で大賞選手、意地のバーディー。▶



大賀利樹選手（左）は最年少（19歳）で最小ハンディ（3）。塩原淳司選手（右）は最多ハンディ（35）。



横浜カントリークラブ
西コース（神奈川県）
10月29日（火）
男子 6330ヤード・パー71
エントリー88名 出場86名
女子 5493ヤード・パー71
エントリー33名 出場32名

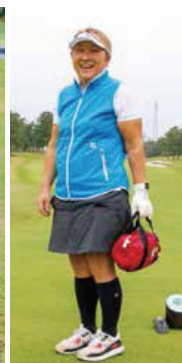
左から。前畑美樹子、山口由布子、三浦里枝、中野めぐみ、狩野益美の各選手。

女子の部 決勝競技入賞者

ランク	名前	所属	GROSS	HDCP	NET
1	前畑美樹子	柏崎	85	15	70
2	山口由布子	水戸レイクス	82	12	70
3	三浦里枝	ブリック&ウッド	98	27	71
4	中野めぐみ	日高	91	19	72
5	狩野益美	伊香保国際	84	11	73



2位入賞の山口由布子選手は最終ホールで好結果。喜び爆発の笑顔が素敵でした。



競技当日は肌寒い雨模様。堀切治美選手は「半袖・素足でもラウンド中は汗をかきますよ」



金田清司選手（左）は同じ神奈川県内の「町田」から渋滞で2時間。だそうで、竹澤康明選手（右）は「長岡から3時間半」とか。堂々の3位入賞でした。



左端の長塩和生選手は「年間80ラウンドぐらいです」



斎藤万知子選手は「練習日も風みたいな強風雨で、客は3組だけ。2組は伊香保国際の仲間でした」



「動きにくいんですけど？」と聞くと「雨に濡れるよりいいでしょう」と、納得です。

小海寿太郎選手（77歳）は諏訪湖から参戦。「台風で不通だった特急あずさが、昨日開通しました」





第2位タイの本大志選手。

第2位タイの細谷幹選手。

12～14歳の部は隅内雅人選手の圧勝。

AGE 12-14

紫カントリークラブすみれコース(千葉県)

15～17歳の部 7233ヤード・パー71
12～14歳の部 7208ヤード・パー71

7月24日(木)～26日(金)

15～17歳の部 エントリー98名 出場96名

12～14歳の部 エントリー58名 出場58名



左から。大野倅(2位タイ)、小林大河(優勝)、鈴木隆太(2位タイ)の各選手。

15～17歳の部 決勝競技入賞者

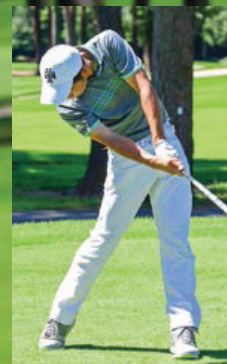
ランク	名前	学校名・学年	1R	2R	3R	Total
1	小林大河	西武台千葉高1	69	72	72	213
2	鈴木隆太	埼玉栄高2	74	72	75	221
2	大野倅	千葉黎明高1	68	77	76	221



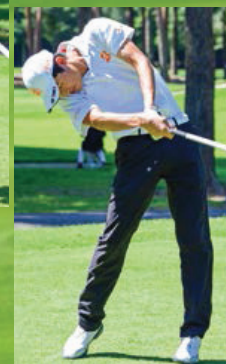
左から。細谷幹(2位タイ)、隅内雅人(優勝)、本大志(2位タイ)の各選手。

12～14歳の部 決勝競技入賞者

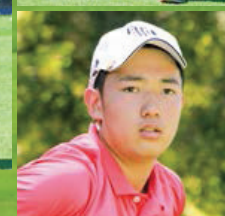
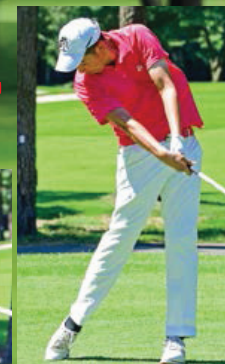
ランク	名前	学校名・学年	1R	2R	3R	Total
1	隅内雅人	水戸二中3	73	70	73	216
2	細谷幹	水戸四中3	79	72	71	222
2	本大志	末吉中2	70	75	77	222



第2位タイの大野倅選手。



第2位タイの鈴木隆太選手。



小林大河選手は15～17歳の部で記録的大差での独走優勝だった。

AGE 15-17

「タイガー」こと小林大河選手が
膝手術のブランクを克服して8打差の独走優勝！

2019年 関東ジュニアゴルフ選手権男子 決勝競技

ングで難コースを攻略。「このコースはパー5の第2打が、風に吹き上がらない強い球のほうが有利」と2番ユーティリティを入れて、ウッドは1、3番の2本だけにした。

15～17歳の部は上位36人、12～14歳の部は同15人が日本ジュニア選手権に進出。会場の霞ヶ関CCは、同選手権を来年の東京五輪を想定したテストケースとして位置づけていた。貴重な経験を相次いで積み重ねた今年のジュニアたちは、恵まれた世代といえるかもしれない。

(文・鈴木遍理参与)

一方、12～14歳の部で優勝した隅内雅人選手は、クラブセッティングで難コースを攻略。「このコースはパー5の第2打が、風に吹き上がらない強い球のほうが有利」と2番ユーティリティを入れて、ウッドは1、3番の2本だけにした。

ところが昨年は突然に左膝の痛みに襲われ、2度の手術。試合からは今年4月まで1年間も遠ざかっていたが、見事な復活となった。

213のバーレーで15～17歳の部を制したのは、小林大河選手だった。180センチを超える長身で、名前はタイガー・ウッズに由来しているという。2年前に本競技の12～14歳の部を制し、全国中学校選手権春季大会でも4位に入るなど、将来を期待されていた。

その中、2位に8打差をつける213のバーレーで15～17歳の部を制したのは、小林大河選手だった。180センチを超える長身で、名前はタイガー・ウッズに由来しているという。2年前に本競技の12～14歳の部を制し、全国中学校選手権春季大会でも4位に入るなど、将来を期待されていた。

当然だったかもしれない。

紫カントリークラブすみれコースは、2015年から関東ジュニア男子決勝の舞台となってきた。しかし来年は日本オープン開催が控えているとあって、コースはこれまで以上に技術、精神力を選手たちに求めるものとなった。



3位の堀川雪花選手。

2位の伊藤二花選手。

優勝の馬場咲希選手。



左から。堀川雪花、馬場咲希、伊藤二花の各選手。

12～14歳の部 決勝競技入賞者

ランク	名前	学校名・学年	1R	2R	3R	Total
1	馬場咲希	日野一中2	73	76	69	218
2	伊藤二花	麗澤中2	69	72	78	219
3	堀川雪花	豊田中3	72	73	75	220

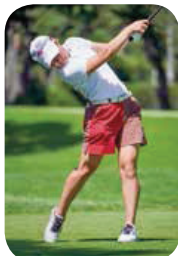
AGE 12-14



優勝の六車日那乃選手。



千葉カントリークラブ
野田コース(千葉県)
6433ヤード・パー72
7月24日(水)～26日(金)
15～17歳の部 エントリー92名 出場90名
12～14歳の部 エントリー67名 出場66名



羽藤3姉弟の末っ子、羽藤和奏選手も2020年は高校卒業。羽藤家の伝統、おばあちゃん手縫いのパンツをまた別の競技で!

たプレーをしつかりとできたことが勝因です」
まさに様々な局面でクレバーなプレーが光った六車選手。優勝カップを持った横顔も光り輝いていた。

(文本係 強委員)

六車選手は中学3年のときに、12～14歳の部でも優勝している。「今日はショットが良かったので何とかなるか。でもよかったのは、コース攻略をきちんと考えてプレーできたこと。パー5の最終18番もセカンドでグリーンを狙うか刻むか、刻むならどこに刻むかでいろいろ考えて、5番ウッドを選択。3打目が打ちやすい距離とエリアに刻みました。それでピン1・5メートルにつけることができました。惜しくもバーディーパットが外れてプレーオフになったんですけど、そうしたプレーをしっかりとできたことが勝因です」



3位タイの4選手。左から。櫻井梨央、羽藤和奏、佐久間朱莉、岩井千怜の各選手。

AGE 15-17



2位の和久井麻由選手。

優勝の六車日那乃選手。

左から。羽藤和奏、櫻井梨央、六車日那乃、和久井麻由、佐久間朱莉、岩井千怜の各選手。

15～17歳の部 決勝競技入賞者

ランク	名前	学校名・学年	1R	2R	3R	Total
1	六車日那乃	麗澤高2	67	71	73	211
2	和久井麻由	代々木高3	70	70	71	211
3	岩井千怜	埼玉栄高2	71	72	71	214
3	佐久間朱莉	埼玉平成高2	70	71	73	214
3	羽藤和奏	わせがく高3	69	71	74	214
3	櫻井梨央	明秀学園日立高1	66	73	75	214

2019年 関東ジュニアゴルフ選手権 女子 決勝競技

「TEAM KGA ジュニア」仲間が上位を独占！
やがては日本へ、世界へ羽ばたく

競技の舞台となった千葉カントリークラブ野田コースは夏晴れで、朝から猛烈に暑い。熱中症対策でスタート時に塩飴が配られる。選手は皆、元気にスタート。第3ラウンドの厳しいピン位置に、果敢に挑んでいく。
先に18ホールを終えたのは12～14歳の部。優勝したのは首位から8打差を逆転した馬場咲希選手。15～17歳の部と同じコースセッティングながら、この部の女子も成しえなかった69を叩き出した。「昨年は第3ラウンドに79と崩れてしまったので、今年は絶対に良いスコアであがりたいたいと思いました。第2ラウンドにバットが入らなかったで、打ち方を確認してグリップを調整しました。そうしたら25パット。後半は10パットでした。9メートルの長いのも入ったりして。でも、優勝できるなんて思わなかったで、本当に嬉しいです」と、長身の馬場選手。笑顔満開だった。
15～17歳の部で優勝したのは高校2年生の六車日那乃選手。第2ラウンドが終わって首位。最終日もずっと首位をキープしたが、最後に和久井麻由選手に追いつかれた。プレーオフはきっちりパーオンしてバーを取り、優勝を成し遂げた。



左から、須藤みかな、伊藤美輝、
新地真美夏、清水心結の各選手。



左から、新地真美夏、清水心結、伊藤美輝、須藤みかなの各選手。

女子 決勝競技入賞者

ランク	名 前	学校名・学年	Total
1	清水心結	さいたま市立中尾小5	71
2	新地真美夏	座間市立相模野小6	72
3	伊藤美輝	私立トキワ松学園小6	73
3	須藤みかな	市原市立加茂学園小6	73



「目土を忘れずに」

目土の補給も各選手、自発的に実行しています。「来た時よりも綺麗にして帰る」と、とても気持ちがいいですね。

森永高滝カントリー倶楽部 (千葉県)

5735ヤード・パー72

7月30日(火)

男子 エントリー70名 出場68名

女子 エントリー53名 出場53名



早くもライバル同士？

本競技の入賞者は、昨年より上位で活躍。昨年の勝者、新地真美夏選手の優勝スコアは「69」と驚異的。これからの長い長いライバル・友情物語が続くことでしょう。



左から、渋谷晃太郎、山崎咲寿、
小島海王の各選手。

男子 決勝競技入賞者

ランク	名 前	学校名・学年	Total
1	山崎咲寿	海老名市立杜家小6	67
2	渋谷晃太郎	横浜市立瀬戸ヶ谷小6	69
3	小島海王	千葉市立宮崎小6	72

小学生にしてアスリートの心構え！ 「遊びのゴルフ」は通用しません

2019年 関東小学生ゴルフ大会 決勝競技

夏休みは各地で子供たちのスポーツ大会が開催される。その中で大きな課題となっているのが熱中症対策であることは、周知の通りだ。特にゴルフは屋外でプレーする時間が長く、関係者の緊張度は半端ではない。

今年の関東小学生ゴルフ大会決勝競技は男子68人、女子53人の計121人が参加。この日も最高気温は30度を超え、スタート前は各選手に「よく眠れたか」「朝食はいつも通りの量を食べたか」などを訪ねたアンケートを提出させ、水分補給などを徹底させた。

さらに競技委員らが各ホールを巡回。気分が悪そうな選手がいたら離れず様子を見守り、救護体制も整えて大きな事故を防いだ。その中で男子の部を優勝した「TEAM KGAジュニア」の山崎咲寿選手は7バーディー、2ボギーで67の好スコア。同じ森永高滝カントリー倶楽部で行われた昨年の全国大会での76(31位タイ)を大きく

く上回り「後半ノーボギーがうれしい。ドライバーの飛距離が昨年より15ヤードほど伸びて240ヤードくらい飛ぶようになったのが大きかった」と、12番ではイーグルも奪った。一方の女子は、世界ジュニア上位の常連である清水心結(みゆ)選手が、同じく「TEAM KGAジュニア」の一員で、連覇を狙った新地真美夏選手に1打差の1アンダー、71で優勝。同組の2人は清水選手が強気のバットで次々とホールにねじ込むのに対し、新地選手も最終2ホールを連続バーディーで追上げる好勝負だった。「今日はドライバーとショートゲームが良かった」と、明るい笑顔で話した清水選手に対し、新地選手は「昨年の69を上回る68が目標だったけど」と、悔しさを押し殺した。

(文 鈴木遍理 参予)



石岡GCC 0番&19番ホール

グルメ 石岡ゴルフ倶楽部の人気のメニューをご紹介します。
「豊洲市場直送の生まぐろです。なめらかな舌触りでもっちりとした上質の生まぐろを、鉄火丼に仕立てました」と、滝口隆調理解長代理(写真)。
冷凍とは違う直送の「生」の、大ぶりの切り身で、ご飯が見えないほどのボリューム。適度な脂が口の中であらわれます。
天然芝の練習打席 石岡GCC自慢のブラックティスエリア。



調理長代理の 滝口隆さん
豊洲直送 生まぐろ鉄火丼



生まぐろ鉄火丼
2100円(税別)

この日も好天に恵まれて、多くのプレーヤーで賑やかな朝となりました。
グリーンキーパーでコースマネージャーの 米岡辰美さん(写真)によると「今週は関東ミッドアマの決勝競技なので、プロのトーナメントと同様に天然芝の練習エリアを解放しました」とのこと。
14打席300ヤードの広大な



グリーンキーパー 兼コースマネージャーの 米岡辰美さん



手権決勝競技が、18ホール・ストロークプレーで開催されました。
樹林は悲惨な倒木被害ながら、ティ、フェアウェイ、ラフ、バンカー、グリーンに至るまで、落ち葉や折れ枝すらない見事な整備ぶりでした。管理スタッフの努力・苦闘ぶりが想像され、胸が熱くなりました。
冬桜一輪。グリーン上にはボールマークを補修する女子シニア選手の姿がありました。



「冬桜」とは種の名前ではなく、10月ごろに咲くサクラの一種とされています。可憐な花に心が癒されます。

秋こそ日焼け防止 関東女子シニアの天候は「晴れ」というより、撮影用語での「ワンパ」でした。直射日光にバラフィン紙一枚を透かした日差しです。
「日焼け防止というよりも、有害な紫外線防止です」と、プロテクターを外した後藤弥生選手(左)の素敵な笑顔。



首筋を日焼けから守るシルクのスカーフも効果的。個性的なおしゃれが楽しめます。

穂高CCC 人を育て、人が育てる

キャディさん 長野県下で「歩き」のプレーは3コースとか。穂高カントリークラブもキャディさんが頼りです。でも地元の松本と大町から、高校の卒業生をキャディに勧誘するのは至難なことです。



写真は湯温が違う二つの湯船がある男性用露天風呂。

高めています。

の地形だ」と言ったそうです。それが龍ヶ崎CCC・12番ホール・パー3として、今日に残されています。井上氏はまず12番を設計して、そこを起点に、18ホールのルートプランを完成させたそうです。



られました。長崎グリーンキーパーは満面の笑顔。自然の演出なのか、空には虹が架かっていた。(写真)



O-Kプロのそっくりさんと話題の長崎キーパー(左)。

龍ヶ崎CCC コース設計の妙

12番パー3 コース設計家の「巨匠」と称される井上誠一氏が、まだ原野だった建設予定地を見下したときのこと。
井上氏は池の淵で足を止めて「理想的な池越えホール

穂高CCCでは今年、金の卵ならぬ若鳥の皆さんが7人、正社員として活躍しています。「夏場の代休をまとめて冬場に、40連休に振り替えます」と藤原正喜取締役支配人。
7人の新人キャディさんの明るさは、写真の通りです。またコース整備も11フィートは、選手から賞賛の音が贈



レトロな置物?

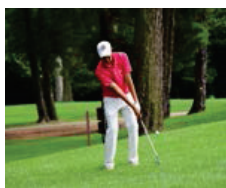
銅物製の懐かしい灰皿です。ティーイングエリアの主役の座を引退して、目立たなく喫煙コーナーに置かれていました。室内インテリアとしては大きい・重い。庭に置いて鉢木でしょうか。

初穂CCC 初穂美肌の湯

掛け流し露天風呂 関東ミッドシニアゴルフ選手権決勝競技の会場となった初穂カントリークラブ。6番ホール脇から、毎分47リットルの温泉がくみ上げられています。国内でトップクラスのアルカリ度を誇る素晴らしい泉質です。皮膚の古い角質を取り除く



ことから「初穂美肌の湯」と名付けられています。クラブハウスの浴場には、男女とも露天風呂が設けられ、広い内風呂と合わせて生まれたての湯が掛け流しで供給されています。「温泉は、うちの宝物」と丸山進支配人。併設のホテル宿泊者やプレーヤーだけでなく、一般の人でも立ち寄り湯として利用でき、ゴルフ場の価値を



日本オープン開催コースで決勝
2018年横浜カントリークラブ(写真上)
2020年紫カントリークラブすみれコース(写真下)
●関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権・決勝競技は、2018年日本オープンの開催コース・横浜CCCでした。9番ホールは日本オープンの最終日と同じホールロケーションで、参加選手の素晴らしい記憶となったでしょう。

●関東ジュニアゴルフ選手権・決勝競技は紫CCCすみれコース。2020年に日本オープンが開催されます。トッププロの攻略法は、ジュニアの良きお手本となりそう。

ゴルフのライバル

「ライバル」とはラテン語の「小川」のことだとか。転じて英語では「川の水利権を争い、常に対立する敵」が、ライバルの語源だそう。

ゴルフの最初のルールは1744年、最初のゴルフクラブ「ジェントルマン・ゴルフアース・オブ・リース」がスコットランドで創立され、「13か条のルール」が制定された。

これもマッチプレーの敵（「ライバル」）と対戦するためだった。第7条の条文は「ボールに入れる時は、ボールに向かってボールを打つ。自分のライン上には、敵のボールを狙ってはならない」とある。この条文がないときには、敵のイーザーバットを弾き飛ばして、負けを回避したに違いない。「汚いぞ！」は通用しない。何しろ相手は敵なのだから。

100年以上前に英国で発行されたゴルフ技術書の多くは「HOW TO……」の打ち方ではなく、心理戦を主としたマッチプレーの必勝法だった。「2番アイアンをバッグに入れていようなどとは勝負するな」などと書いてある。まるで「孫子の

兵法」みたいだ。

日本ではどうか。敵の駒を駆除するチェスよりも、敵を味方にして再度活躍の場を与える、将棋のほうが優雅なゲームに思える。

暮仇（こがたき）も同様。日本人の心情では、ライバルは敵ではなく「好敵手」と意識される。ただし、好敵手であるほど負ければ悔しくて「次こそ、コテンパンにやっつけてやる！」と、リベンジに燃えるものだ。

ちなみに英語本来のリベンジの意味は「復讐」とか「恨み」など、ちよつと血なまぐさい。これも優しい和訳でリベンジを「再挑戦」としておく。

さて、ゴルフ仲間がライバルというのは始末が悪いものだ。ゴルフはプレー時間が長いので、劣勢の悔しい記憶も長く蓄積されてしまうのだ。40年もゴルフをやっていると、私にもライバルは多い。その一人、私もABCから手ほどきした相棒は、初ラウンドから私に教語を使つた。もちろんゴルフの時だけのジョークで、呼び名も「ししよ（師匠！）」

だから悪い気はせず「なんだ、弟子」と合ませた。

ただし、師匠のアドバイスは弟子に無視された。グリーン周りからロブショットなんて、師匠もできないから「バットみたいに転がして寄せろよ。ボールを上げて止めるなんて、10年早いわい！」

さらに、生意気にも……。「なんで（最高級ボールをゴルフ場の売店で3個）買ったんだ？ スタートから3ホールも持たないで、OBだ、池だじゃないの！」と、あまりの浪費ぶりに呆れた。

彼がヒキナー時代の、ゴルフに対する取り組み姿勢を語ったのは、シングルに成長してからだった。もう師弟関係どころか、ニギリのカモに甘んじていたけれど。

「ししよ（師匠）の教えを忠実に守ったんだよ。上手くなりたければ毎月、小遣いから5万円をゴルフ代として用意しろ」と

そんなこと、言ったかな？ 「5万の半分はプレー代、1万円は練習代、道具の買い替えの貯金が1万円、5000円が備品代。もう昼飯代もなかったよ」



で、どうしたの？ 「愛妻弁当」・禁煙・節酒・床屋は月イチ練習は平日・早朝の打ち放題を通勤前に、スポーツ紙もゴルフ雑誌も待合室で読むから買わない。生活全般が規則正しく変わったのは、師匠のおかげです」

（文堺）

from

Kanto Golf Association

使い捨てポリ袋について

雨や夏場の汗で濡れた衣服を持ち帰るのに、浴室においてあるポリ袋は不可欠です。つい便利使いしてしまいがちですが、心がけ次第で環境保全活動への協力も可能です。例えば、浴室のポリ袋を焼却すればCO₂が発生し、ポリ袋1枚10gを焼却するとCO₂の量は約60gになります。

CO₂は地球温室効果ガスであり、オゾン層の破壊による地球温暖化、異常気象や種の絶滅、感染症リスクなどは予想を超えて、地球環境の破壊を促進してしまいます。地球環境保全に貢献するため、一部のゴルフ場ではポリ袋の設置を廃止し、ランドリーバッグ持参の呼びかけとともにゴルフ場のロゴ入りランドリー

バッグ等を販売しているところもあります。

また、資源エネルギー庁では、2050年に向けて化石燃料の利用に伴うCO₂の排出を大幅に削減していくために、CO₂を炭素資源（カーボン）と捉え、これを回収し、多様な炭素化合物として再利用（リサイクル）するカーボンリサイクルを進めています。地球規模で見れば、プラスチックゴミの削減、CO₂排出の軽減など、私たちにできることも多くありそうです。

まずは手始めに、ランドリーバッグでも持参してみましょうか。どなたかに手縫いの袋をプレゼントしていただくと、ラウンドも楽しくなりそうです。



日本海の高風発電。新潟県・中条GCに隣接する風力発電施設。

no.132
KGA GOLFERS NEWS

2019年12月25日発行
KGA GOLFERS NEWS No.132
発行所／一般社団法人 関東ゴルフ連盟
〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号
銀座SCビル4階
TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008
ホームページ <http://www.kga.gr.jp>
発行人／池谷正成 編集／広報委員会

編集後記

最後にこの号を見直していて、ゴルフは実に幅広い年齢の人に愛されるスポーツである、と改めて実感した。「TEAM KGAジュニア」の特集に始まり、ミッドアマ、シニア、ミッドシニア、そしてジュニア、それもAge 12-14とAge 15-17に小学生！さらには、年齢を問わず同じフィールドで楽しめるアンダーハンディキャップ選手権。しかも、これから人類の健康の大敵である「認知症」の予防にも効果があるかも（？）なんて！「人生100年」と言われる今の時代に生きる者の心身の健康に、こんなに良いスポーツは無いと思う。しかし、日本ではなぜか、世間からの評判が大変悪い。一人のゴルファーとして純粋に、「生涯スポーツとしてのゴルフの良さ」と楽しさをより多くの人に、それも今はまだゴルフをしたことのない人たちに知ってもらいたい」と、切に思う。（広報委員長・吉田裕明）

THE PLAYOFF GAMES

OF THE YEAR 2019

KGA主催決勝競技「プレーオフ」



- ① 関東女子ゴルフ選手権
優勝・佐久間朱莉選手
- ② 関東グランドシニアゴルフ選手権
優勝・延田政弘選手
- ③ 関東ミッドシニアゴルフ選手権
優勝・田村敏明選手
- ④ 関東女子ミッドアマチュアゴルフ選手権
優勝・平林治子選手
- ⑤ 関東ジュニアゴルフ選手権 女子15~17歳の部
優勝・六車日那乃選手